

対象地域：神奈川県

再生課題：森林環境の保全、環境教育



- 事務局
NPO法人緑のダム北相模
- 対象地域
神奈川県相模原市緑区相模湖周辺
- 活動開始：H10. 8
(R4. 2現在)

特定非営利活動法人 みどりのだむきたさがみ 緑のダム北相模

再生目標

社会的財産として森林という地域資源の価値を引き出し、①環境的側面から森をつくる、②社会的側面から森とつなぐ、③経済的側面から森にお金を戻すことで森をいかす活動を進める



相模湖周辺の森林は、戦後の拡大造林政策により植林されたものの、外国産材木により価格が低迷したことで放置されていました。このような壊滅状態の森林に危機感を覚え、「環境（森林）破壊という負の遺産を子孫に残してはならない」を活動理念とし、活動をはじめました。

本団体は、ボランティア団体としては初となるFSC認証を平成17年から10年間取得し、認証期間が終わった現在でもその原則に沿った市民の森づくり活動を行っています。森林整備のみならず、森づくりを通して人づくりを行う環境教育、環境ESDも柱に活動しており、令和2年からは、間伐材を使った木工の活動にデジタルファブリケーション（レーザー加工機や3Dプリンタ等）を加えたSTEAM教育にも取り組んでいます。

自然再生の手法

- 民有林等の森林整備（間伐、枝打ち、下草刈り）
- 森林測量
- 先端技術（センサーカメラ、ドローン等）も活用した生物調査
- 間伐材の活用（地域のリクエストによる保育園等のおもちゃの作成、大学図書館等のベンチ製作等）
- 都市部小学生を対象とした森林体験教室



間伐

ここに注目！

リアルな学びの提供による若い世代の参画促進

設立当初は大人が活動主体でしたが、学生への働きかけを続けることで、現在では定例活動の半数が中高大学生となりました。森林整備だけでなく、整備のための測量や管理のための生物調査、間伐材を利用したモノ作りまで、森林に関わる環境・社会・経済を体感できるリアルな学びの場を提供しています。間伐材の活用は自分たちで切った材で社会や地域で必要とされているものを自分たちで設計して0から作る活動をしています。



間伐材を使ったモノ作り